

事業シート（概要説明書）

事務事業名	生涯学習相談員	担当局・部名	教育委員会事務局 生涯学習部
根拠法令	「社会教育法」第5条第15項・16項 「生涯学習振興法」第3条第1項・第5項	担当課名	市民学習振興担当
事業開始年度	平成11年度	作成責任者	岡本 和夫

実施方法 (該当するものすべてにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施
	<input type="checkbox"/> 外部委託
	<input type="checkbox"/> その他 ()

目的 (何のために)	生涯学習相談員は、すべての市民が主体的・継続的に学習し、自己実現やこれからの社会において必要な力を獲得するための学習機会に関する情報提供や相談、また、学びを通じた教育コミュニティづくりの推進支援などを通して地域レベルでの生涯学習の振興を図ることを目的として、市内全区(24区)に設置している。
----------------------	--

対象 (誰・何を対象に)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで生涯学習の活動に参加をしたことがない市民や自分にあった生涯学習の活動を探している市民 ・生涯学習推進員等の市民ボランティア
------------------------	---

事業内容 (手段、手法など)	<p>【教育委員会の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習相談員の委嘱、全区役所の生涯学習担当への配置 ・委嘱当初の相談業務等に関する研修 ・相談員業務向上のための研修企画・実施 ・毎月の学習相談件数・内容報告のとりまとめと全区への情報提供 <p>【生涯学習相談員の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全区役所において、電話や面談により区民の多様なニーズに対応したきめ細かな学習相談に対応 →まなびに関する問合せに対応したレファレンス、漠然としたニーズを具体的な学習活動に結びつけるための学習カウンセリング、グループ・サークル活動等の会場を探している人への施設紹介、自らの知識・技術等を教えたい市民へのボランティア講師活動に関するレファレンス など ②区内の各種生涯学習情報の収集と提供 →情報誌の発行と配布、区役所内設置の区生涯学習情報コーナーへの各種チラシ・リーフレット・ポスター等の配架や管理、区内の各種施設・グループ・団体の情報の収集と提供 など ③生涯学習ルーム、生涯学習推進員との連携・支援 →日常的な生涯学習推進員からの問合せ対応、区生涯学習ルーム発表会準備・開催、区民ギャラリー等への生涯学習ルーム受講者の作品展示、生涯学習推進員関係の会議への出席 など ④その他、市民の生涯学習活動に対する支援 <p>【委嘱要件】生涯学習に関して情熱を持つもので、永年にわたり社会教育団体の活動経験、生涯学習にかかる業務従事者の経験などを有する者について教育委員会が区長からの推薦を総合的に勘案して委嘱(週4or5日(週19時間20分))</p>
--------------------------	---

実施済の外部委託の内容と実施主体	委託内容				
	実施主体	<input type="checkbox"/> 民間企業	<input type="checkbox"/> 外郭団体等	<input type="checkbox"/> 市民活動団体 (NPOなど)	<input type="checkbox"/> 市民活動団体 (地域住民組織など)

直接実施している業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習相談員の委嘱、全区役所の生涯学習担当への配置 ・委嘱当初の相談業務等に関する研修 ・相談員業務向上のための研修企画・実施 ・各区学習相談件数報告のとりまとめと全区への情報提供
----------------------	---

事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・区民にとって身近な区役所で生涯学習相談が受けられることや、地域の各種施設や団体での子育てや地域の歴史文化など幅広い各種生涯学習情報の一元的な提供を受けることができ、区民の主体的な学習活動への参加のきっかけづくりにつながっている。 ・また、生涯学習ルーム、生涯学習推進員との連携・支援により、地域の生涯学習を担う人材の育成にも寄与していることから、本市の生涯学習施策の地域レベルでの振興に必要である。
---------------	---

コスト	平成21年度（予算）			人件費					
	事業費	30,619	千円		職員構成	概算人件費 (平均人件費× 従事職員数)	従事職員数		
	人件費	4,831	千円		担当本務職員	4,831	千円	0.6	人
	総計	35,450	千円		臨時職員他	千円			人

事業シート（概要説明書）

総事業費 (単位：千円)	年度	総額	実施方法が外部委託の場合、委託料等を内数で記入		
	H19(決算)	35,399 千円			
	H20(予算)	34,010 千円			
	H21(予算)	35,450 千円			
21年度総事業費内訳 (委託料等を明記)	●平成21年度歳出内訳(35,450千円) 【人件費】4,831千円 【物件費】30,619千円 ・生涯学習相談員報酬 @100,000×24人×12月 28,800千円 ・通勤実費等 1,717千円 ・研修講師謝礼 30千円 ・資料購入等 72千円				
事業実績	項目	単位	H19年度(実績)	H20年度(実績)	H21年度(予定)
	相談件数	件	8,646	7,977	8,000
	生涯学習情報誌の発行(年間総発行部数)	部数	134,480	151,815	150,000
単位当たりコスト (総事業費/事業実績)	総事業費/相談件数	円/件	4,094	4,264	4,431
	総事業費/生涯学習情報誌年間総発行部数	円/部	263	224	236
目指す成果 (今後どのような状態にしたいか、なるべく定量的に記入)	各区の生涯学習ルームをはじめとする多様な生涯学習の活動への参加を促進する。 ・市民が主体的に運営する講座(自主事業) 平成16年度 246,812人→平成21年度 319,000人 ・学んだことを地域に還元する講座(地域連携支援講座) 平成20年度 72,764人→平成21年度 73,000人 ・大阪市基本計画に基づき、この1年間で一定期間継続して学習をしたことがある市民の割合 平成15年度 46.8%→平成25年度 55%				
達成状況 (目指す成果に対して、実施・達成した状況を記入)	・生涯学習推進員との連携・支援を通じて、生涯学習ルームの自主事業の比率が増えるとともに延べ参加者数も増加している。 (生涯学習ルーム事業延参加者数 平成16年度 403,016人→平成20年度 440,863人 自主事業延参加者割合 平成16年度 61.2% →平成20年度 72.3%) ・地域貢献や教育コミュニティづくりをめざす地域連携支援事業を平成20年度より明確に位置づけたことにより、学習者だけの活動から学習の成果を地域に活かし学校・家庭・地域の連携を深める取り組みとして、高齢者施設の訪問、大人と子どもが共に学ぶ講座や学校図書室での読み聞かせなどが定着してきた。				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	・市民ボランティアへの支援など、区民の主体的な学習活動につながる学習相談機能を果たしている。 ・市民一人ひとりが、日常的に直面するさまざまな課題解決に向けて、自分たちでものごとを決め、ともに解決に当たるという「市民力」の向上や、学校を拠点として大人と子どもがともに学び交流する、学びを通じた教育コミュニティづくりの推進につながる学習活動への発展に、いかに寄与していくかが課題である。				
さらなる民間活用・市民協働推進の予定	<input type="checkbox"/> 有 (予定する業務と、想定しうる実施主体を下欄に記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 無		
	業務内容				
	実施主体	<input type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 外郭団体等 <input type="checkbox"/> 市民活動団体(NPOなど) <input type="checkbox"/> 市民活動団体(地域住民組織など) <input type="checkbox"/> その他()			
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	横浜市・・・市内全区(18区)設置の生涯学習支援センターに各区2名配置。 1区に4名程度配置、ローテーションで常時2名体制。土日も開館。月1回休館日あり。 千葉市・・・生涯学習センターに嘱託職員8名配置。9時～5時、11時～19時の2交代制。第4月曜日のみ休館。土日勤務あり。				
特記事項 (事業の沿革等)					

区における生涯学習の推進と 生涯学習相談員の役割

教育委員会

委嘱

研修

○生涯学習ルーム

小学校の特別教室等を、地域の身近な生涯学習拠点として活用。地域住民の自主的な学習活動や交流の場として全小学校に開設。

○生涯学習推進員

生涯学習ルームの講座企画・運営等、小学校区レベルでの生涯学習活動を支える市民ボランティア。約1200名が活動。

生涯学習相談員

(各区役所に配置)

相談

区民

①生涯学習のための学習相談

- ・窓口相談・電話相談等

②区内各種生涯学習施設など 生涯学習情報の収集・提供

- ・生涯学習だよりの発行
- ・区内の施設情報、グループ・団体情報の収集・提供等

③生涯学習ルーム・生涯学習推進員との連携・支援

- ・各生涯学習ルームの情報収集・発信
- ・区生涯学習ルーム発表会への参画
- ・生涯学習推進員からの相談対応
- ・生涯学習推進員関係の会議出席等

④学習活動の発表や交流等、 市民の学習活動に対する支援

教育コミュニティづくり

- ◎地域における生涯学習の振興・活性化による地域コミュニティづくりにつながる
- ◎学んだことを地域社会に還元する循環型の生涯学習の推進につながる
- ◎学校・家庭・地域社会が一体となった総合的な教育力の向上につながる
- ◎学びを通じた市民主体のまちづくりにつながる

社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力の向上につながる。



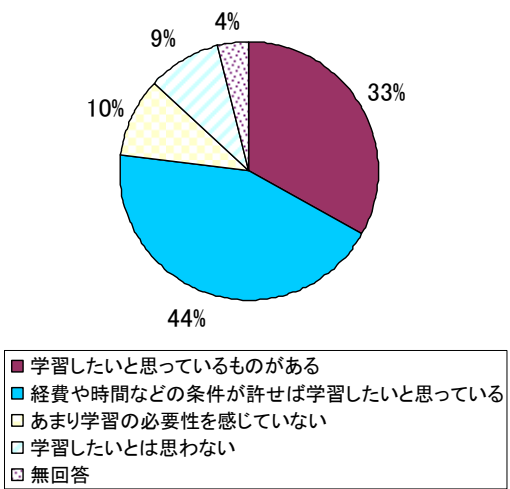
市民力の向上

- ・今住んでいる区内でコースを学びたい。どこかありますか？
- ・ボランティアで書道を教えたいのですがどうすればいいですか？
- ・定年を迎え時間があまっているので、何かしたいのですが？
- ・来日して間もないので、身近な場で日本語を学びたいのですが？



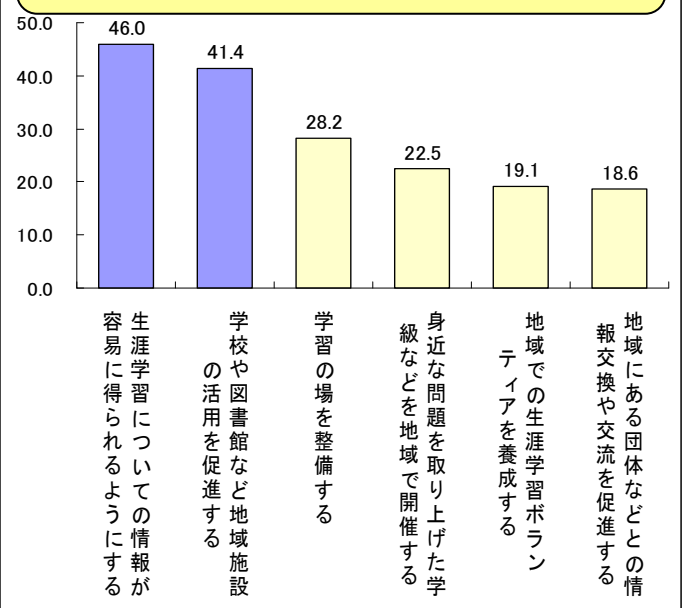
生涯学習に関する市民ニーズについて

今後の学習について (%)



資料:「大阪市における生涯学習についての世論調査(平成16年)」より

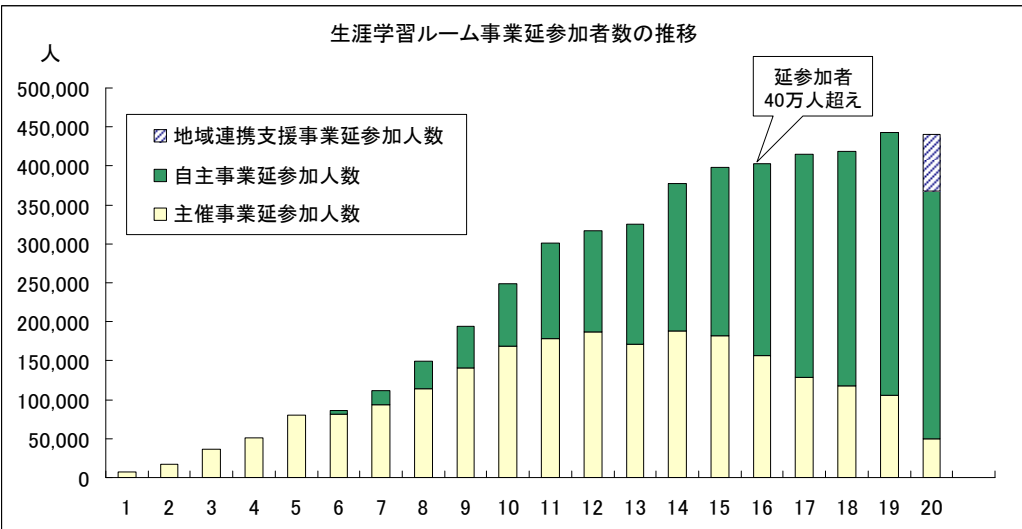
今後とくに重要と思う地域における生涯学習のための環境づくりに対する支援・協力について (%)



市民主体の生涯学習の推進について

生涯学習ルーム事業は①主催事業②自主事業③地域連携支援事業（H20開始～）の3事業があり、年間延40万人の市民が参加している。近年は②自主事業の割合が増加しており、市民主体の生涯学習が進められている。さらに、③地域連携支援事業が約500講座開講されるなど（H20実績）、学んだことを次のステップに活かす循環型の生涯学習活動が広がっている。

①**主催事業**…地域の人々が学習活動に取り組むきっかけづくりの事業。本市が講師謝礼金を補助。(例:陶芸教室、コーラス等)
 ②**自主事業**…主催講座終了後に自主グループ化を図り、市民が自主的・自律的に企画・運営する講座。本市からの補助はなし。
 ③**地域連携支援事業**…学んだことを地域に還元する講座。地域団体と連携した事業や、現代的・社会的課題をテーマとする講座。(例:学校の授業に参画、地域の歴史・文化学習、環境問題学習等)



- 地域連携支援事業の例
- ・朗読講座の受講生が、学校の国語の時間に出前授業を実施。
 - ・手芸講座の受講生が PTA と連携し卒業生のコースジュ作り
 - ・コーラス受講生による病院や高齢者施設への訪問発表
 - ・環境問題講座を行い、地域でごみ減量に取り組む 等